

## 学生募集要項の入手方法

各学生募集要項(願書)は、本学のホームページからダウンロードしてください。  
[https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list\\_guidebooks.html](https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list_guidebooks.html)  
 (HOME ▶ 本学で学びたい方へ ▶ 入学案内・募集要項の一覧)

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。  
<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/requests.html>  
 (HOME ▶ 本学で学びたい方へ ▶ 募集要項等の請求方法)

ガイダンス・進学相談、  
過去の「AC入試・特別入試ガイドブック」に  
ついてはこちら

▶ <https://ac.tsukuba.ac.jp>

## 2020年進学説明会開催スケジュールについて

本学では下記の通り2020年の進学説明会の開催を予定しています。なお、申込時期等は変更となる可能性がございますのでご了承ください。日程や内容については、説明会毎に決定次第、別途お知らせいたします。筑波大学会場以外にも全国各地での合同大学説明会に参加しています。

全国各地での合同大学説明会については、こちらをご覧ください▼  
<https://ac.tsukuba.ac.jp/guide/shingakusoudan>

2020年進学説明会予定一覧

開催時期	内容	開催場所	備考
6月(土または日)	ミニ進学説明会 (全体説明のみ)	東京キャンパス 文京校舎	4月中旬申込 開始予定
8月17日(月)・18日(火)・22日(土)・ 23日(日)・29日(土)・30日(日)	夏の進学説明会 (17日、18日は全体説明のみ)	筑波キャンパス	6月中旬申込 開始予定
11月7日(土)・8日(日) (学園祭と同日)	秋の進学説明会 (全体説明のみ)	筑波キャンパス	9月中旬申込 開始予定

## アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
 TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392  
<https://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学ホームページへ

筑波大学 で 検索

P.02 AC入試

P.03 国際バカロレア特別入試

P.04 国際科学オリンピック特別入試

P.05 海外教育プログラム特別入試

P.05 研究型人材入試



筑波大学  
 University of Tsukuba

2021年度 学群・学類の定員と募集人員

			個別学力検査等												
学群	学類・専門学群	入学定員	前期日程			後期日程	推薦入試	アドミッションセンター入試	研究型人材特別入試	国際科学オリンピック特別入試	国際バカロレア特別入試	海外教育プログラム特別入試	帰国生徒特別入試	私費外国人留学生入試	留学生特別プログラム入試・2
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数	(学類・専門学群選抜)										
人文・文化学群	人文学類	120	文系128 理系Ⅰ154 理系Ⅱ41 理系Ⅲ90	30	45	20	20	5			若干			若干	
	比較文化学類	80		20	35		20	5			若干			若干	
	日本語・日本文化学類	40		20			14	3			若干				3
社会・国際学群	社会学類	80		20	40		16				若干				4
	国際総合学類	80		20	36		20				若干				4
人間学群	教育学類	35		3	22	3	7				若干			若干	
	心理学類	50		5	26	4	15*1				若干			若干	
	障害科学類	35		3	17	3	12				若干			若干	
生命環境学群	生物学類	80		20	14	18	20	3		若干	若干		若干	若干	5
	生物資源学類	120		20	52	15	27				若干				6
	地球学類	50		13	21	4	12				若干			若干	若干
理工学群	数学類	40		10	22		8				若干			若干	
	物理学類	60		15	20	10	15			若干	若干			若干	
	化学類	50		13	14	10	13			若干	若干			若干	
	応用理工学類	120		30	49	22	16				若干			若干	3
	工学システム学類	130		33	55	20	20				若干			若干	2
	社会工学類	120		30	60	15	15				若干			若干	
情報学群	情報科学類	80		20	42		10	8		若干	若干			若干	
	情報メディア創成学類	50		18	20		8	4		若干	若干			若干	
	知識情報・図書館学類	100		45		10	40	5			若干			若干	
医学群	医学類	134		5	44 地域枠18		44 地域枠18		若干		3	2			
	看護学類	70		5	40		25				若干			若干	若干
	医療科学類	37		10	15		12				若干			若干	
体育専門学群		240			140		88	12			若干		若干	若干	
芸術専門学群		100		5	50	5	40				若干		若干	若干	若干
合 計		2,101	413		897	159	555	45			3	2			27

\*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。  
\*2 「私費外国人留学生特別コース入試」「Japan-Expert（学士）プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム（学士）入試」「総合理工学位プログラム（学士）入試」を合計した数を示します。

AC入試

(アドミッションセンター入試)

自己推薦型（書類＋面接）の入試です。

自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。

現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2020年度	446人	43人
2019年度	469人	54人
2018年度	377人	57人
2017年度	359人	51人

● アドミッション・ポリシー

志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することはせずに、個別学力検査等（前日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

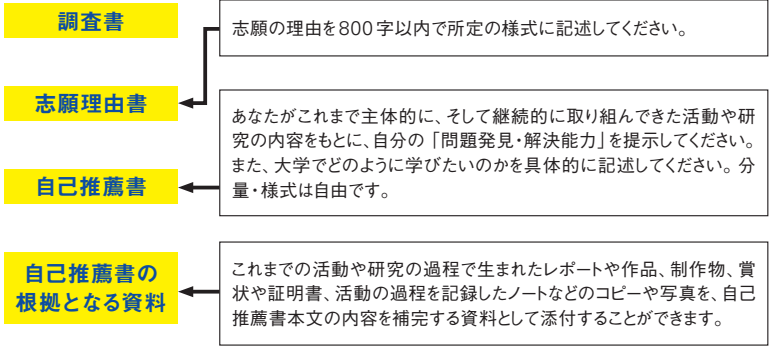
● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。	5	■ 民俗調査―地域の文化を将来に残していくために ■ 美学の探求―美しいものはなぜ美しいのか ■ 神話の故郷―西アジアにおける旧約聖書以前の神話 ■ 近代日本における宗教心の形成と「国家神道」 ■ 地域の伝承文化を学ぶ―川との死闘
	比較文化学類	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的に個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。	5	■ 川廻し(河川短絡工事)について ■ 官位と色 ■ 国語科における定番教材の成立過程 ■ 日本の地方都市におけるコンパクトシティ実現の可能性 ■ 空間における天井画のあり方
	日本語・日本文化学類	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。	3	■ おしゃべりの美化語―近代文学の会話文を通して ■ 日本語学習に役立つ「かるた」の作成 ■ 結婚適齢期―宗門人別帳から見た江戸期の初婚年齢等
生命環境学群	生物学類	生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。	3	■ 朝顔の開花の研究 ■ エチレンがアрилインゾチオシアネート生成量に与える影響 ■ センチュウの記憶と学習 ■ セミが羽化場所を決める要因に関する研究
情報学群	情報科学類	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。	8	■ 顔識別のための学習モデルの構築と改良 ■ 消耗品の在庫管理と購入支援を行うアプリの開発 ■ 低コスト型SMS認証の開発 ■ 遅延評価を持つ関数型言語およびコンパイラの開発 ■ ビジュアルプログラミング言語の改善 ■ バスの自動運転に向けたフィードバック制御の応用
	情報メディア創成学類	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。	4	■ WEBメディアの開発過程 ■ 当番設定通知サービスの開発 ■ 人を引き付ける短いメモディとは何か ■ アプリケーション開発を通じた情報の可視化
	知識情報・図書館学類	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。	5	■ 情報・メディアをめぐる考察とビブリオバトルの取り組み ■ 図書館における地域コミュニティの形成とガバナンス ■ 紙芝居の研究と海外での実演 ■ 電気部の再建に向けた取り組み・諸活動 ■ 市立図書館における高校生利用者の実態と課題
体育専門学群		A（問題解決型）:ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。  B（競技力型）:抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。	12	■ 客観的データに基づくデリバリーフォームの考案(カーリング競技) ■ 心技体の向上と砲丸投げの可能性 ■ モダンダンスにおける「伝わる表現力」 ■ ラグビーにおけるキャプテンの在り方 ■ 女子ラグビー界の発展を目指して

● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。



● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。



# 国際バカロレア特別入試



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。



国際バカロレア  
「10の学習者像」

## ● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

### 募集学群・学類、募集人員

すべての学群・学類：若干名（ただし医学類は3名）

### 選考方法

#### ■ 第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

#### ■ 第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

### 【過去の実績】

	志願者数	合格者数*
2020年度	33人	3人
2019年度	21人	5人
2018年度	21人	2人
2017年度	24人	4人
2016年度	13人	5人

#### ※合格者の出願先

- 2020年／物理学類、医学類、芸術専門学群
- 2019年／人文学類、心理学類、生物資源学類、応用理工学類、医学類
- 2018年／生物資源学類、医学類
- 2017年／比較文化学類、心理学類、医学類、芸術専門学群
- 2016年／国際総合学類、物理学類、医学類、医療科学類、芸術専門学群

# 国際科学オリンピック特別入試



## 世界の科学技術を リードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

## 国際科学オリンピック特別入試の概要

### 募集学類

- 生物学類 ● 物理学類 ● 化学類 ● 情報科学類
- 情報メディア創成学類

### 対象となるオリンピック

- 化学 ● 生物 ● 物理 ● 情報 ● その他\*

\*情報科学類、情報メディア創成学類には、IPA「未踏IT人材発掘・育成事業」採択者も応募できます。

### 選抜方法

エントリーシートに基づいて、15分程度の個別面接により行います。ただし、生物学類のみ書類審査による第1次選考を行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

### 【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2020年度	5人	2人
2019年度	12人	6人
2018年度	6人	3人
2017年度	14人	7人
2016年度	15人	7人
2015年度	9人	4人
2014年度	10人	5人
2013年度	16人	7人
2012年度	10人	7人
2011年度	13人	9人

## 入試の変更点

国際バカロレア特別入試について、2022年度入試から、実施回数及び選抜方法を以下のとおり変更します。

現在の1回実施から、国際バカロレア資格を取得した者を対象とした1回目と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした2回目の2回実施とします。1回目に出願した者は2回目に出願することはできません。

### 2021年度入試まで

※全ての学類・専門学群にて実施

対 象： 国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者

選抜方法： 第1次選考／書類審査  
第2次選考／面接・口述試験

選考期間：9月～10月

### 2022年度入試以降

1回目 ※一部の学類・専門学群にて実施

対 象： 国際バカロレア資格を取得した者

選抜方法： 第1次選考／書類審査  
第2次選考／面接・口述試験

選考期間：7月～10月頃

2回目 ※全ての学類・専門学群にて実施

対 象： 国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者

選抜方法： 書類審査、面接・口述試験、小論文、実技等、学類・専門学群ごとに設定します。

選考期間：11月頃

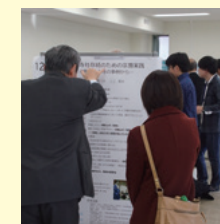
詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

### 1年生から 研究できる!

## 先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります!

先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究費と研究場所提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。



AREの研究発表会の様子

### 【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2019年度	95件	77件(77人)
2018年度	88件	56件(63人)
2017年度	67件	47件(49人)
2016年度	41件	41件(43人)
2015年度	45件	45件(50人)

詳しくはWebをご覧ください。  
<https://www.are.tsukuba.ac.jp>



# 海外教育プログラム特別入試

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SATを履修・受験した者です。

募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

選考方法

■第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2020年度	10人	2人
2019年度	8人	1人
2018年度	8人	0人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください

# 研究型人材入試



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者、各自で優れた理系の研究を行った者のいずれかに該当し、将来研究者を目指す者です。

## ● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

募集学群・学類、募集人員	【過去の実績】
医学群医学類：若干名	
選考方法	
■第1次選考 出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。	■最終選考 第2次選考合格者に対して、2021年度大学入学共通テストの結果で判定いたします。
■第2次選考 第1次選考合格者に対して適性試験および面接・口述試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。	

## AC入試 Q&A

**Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか**

**A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。**

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

**Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどのような人ですか**

**A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。**

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/report>

**Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか**

**A. 必要ではありません。**

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

**Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか**

※スーパーサイエンスハイスクール

**A. 利用してもかまいません。**

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とはっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

**Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。**

**A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。**

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

**Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか**

**A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。**

合格者には、結果的に成績がよい人が多くっていますが、出願要件ではありません。

**Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか**

**A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。**

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

**Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか**

**A. いいえ。**

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

**Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか**

**A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。**

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際科学オリンピック特別入試 Q&A

**Q. 出願できるのはどのような人ですか？**

**A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。**

詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

**Q. 選考で重視されるのはどんなことですか？**

**A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。**

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に可否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

**Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか？**

**A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。**

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際バカロレア特別入試 Q&A

**Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか？**

**A. スコアだけで可否を判定しません。**

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

**Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか？**

**A. 英語を履修していれば必要ありません。**

履修していない場合の扱いは教育組織ごとに異なりますので、募集要項でよく確認してください。

**Q. 筑波大学の推薦入試等と併願することはできますか？**

**A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。**

AC入試、国際科学オリンピック特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。